

ArcGIS

ArcGIS Pro 同時使用ライセンス利用ガイド

目次

概要	3
このガイドについて	3
注意事項	4
ご契約製品のライセンス種別の確認方法について	4
ライセンス マネージャーについて	5
ライセンス マネージャーについて	5
動作環境	5
インストールの流れ(ライセンス マネージャー のバージョン アップ含む).....	6
サーバー機交換の流れ	7
ライセンス ファイルの作成	8
ライセンス マネージャーの インストール	12
インストール プログラムのダウンロード.....	12
インストール プログラムの実行	14
ライセンスの設定	15
ライセンス認証.....	15
ライセンス サーバーのポート開放	19
ライセンス マネージャーの停止/開始	26
クライアント端末での 製品のインストール	27
製品のインストール プログラムのダウンロード	27
【任意】アドイン ツール等のダウンロード.....	29
クライアント端末から ライセンスを参照	30
ArcGIS Pro のライセンス設定	30
ArcGIS Pro の動作確認.....	32
補足：アンインストール	33
ライセンスの認証解除	33
プログラムのアンインストール.....	34

概要

このガイドについて

ArcGIS Pro を同時使用ライセンスで使用するユーザー様向けに、ソフトウェアの利用開始に必要な操作を紹介します。My Esri（ご契約者様向け Web サイト）の登録完了後に行う、下図の赤枠で囲まれた操作の手順が中心となります。



ユーザー タイプに付属する ArcGIS Pro ライセンスを指定ユーザー ライセンスとして利用する場合は、本ガイドの対象外となります。



注意事項

※必ずお読みください

My Esri (my.esri.com) は製品のダウンロード、技術的なお問い合わせ、ライセンス認証番号の確認など様々なサービスを提供する Web サイトです。

- ・お客様の組織（ESRI顧客ID 単位）において、ライセンスやお問い合わせ担当者を管理される「管理者」がいらっしゃいます。お客様ご自身が My Esri の管理者ではなく、組織内の My Esri の利用状況がご不明な場合はご契約のご担当者様にご確認ください。
- ・My Esri の利用開始には、**登録申請が必要です**。ライセンスやお問い合わせ担当者を管理される「管理者」が「[My Esri の利用開始](#)」の手順に沿ってご利用を開始してください。
- ・My Esri は、組織内の管理者によってアカウントに付与された権限毎に、利用可能な機能が異なります。権限の詳細は「[ユーザーの管理](#)」をご覧ください。
- ・My Esri のより詳細な機能については、「[My Esri とは](#)」をご参照ください。

ご契約製品のライセンス種別の確認方法について

ご契約製品のライセンスの種別については、My Esri (my.esri.com) → [ライセンス] メニュー → [ライセンス情報] → [認証] → [ライセンス タイプ] にてご確認頂けます。

また、ESRIジャパンから送付されたライセンス コンファメーションにも記載があります。

※同時使用ライセンスは、ライセンス名の末尾が「CU」、認証番号の冒頭が「EFL」です。

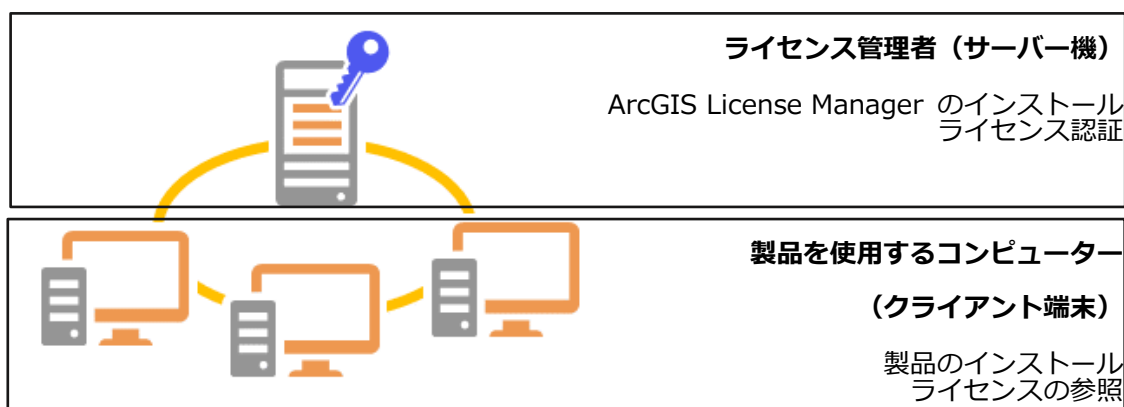
ライセンス マネージャーについて

同時使用ライセンスでは、ネットワーク上の 1 台のコンピューターにインストールされるライセンス マネージャー（ArcGIS License Manager）が、そのネットワーク上で同時に使用できるライセンスおよびソフトウェアの台数を管理します。

ライセンス マネージャーについて

同時使用（CU）ライセンスをご使用の場合、最初にどのコンピューターをライセンス サーバー（サーバー機）として使用するかを決定します。ライセンス管理者は、サーバー機で ArcGIS License Manager（ライセンスを管理するプログラム）のインストールとライセンスの認証を行います。

ライセンスを参照する個々のコンピューター（クライアント端末）では、製品をインストールします。クライアント端末は、サーバー機のライセンスを参照して製品を使用します。



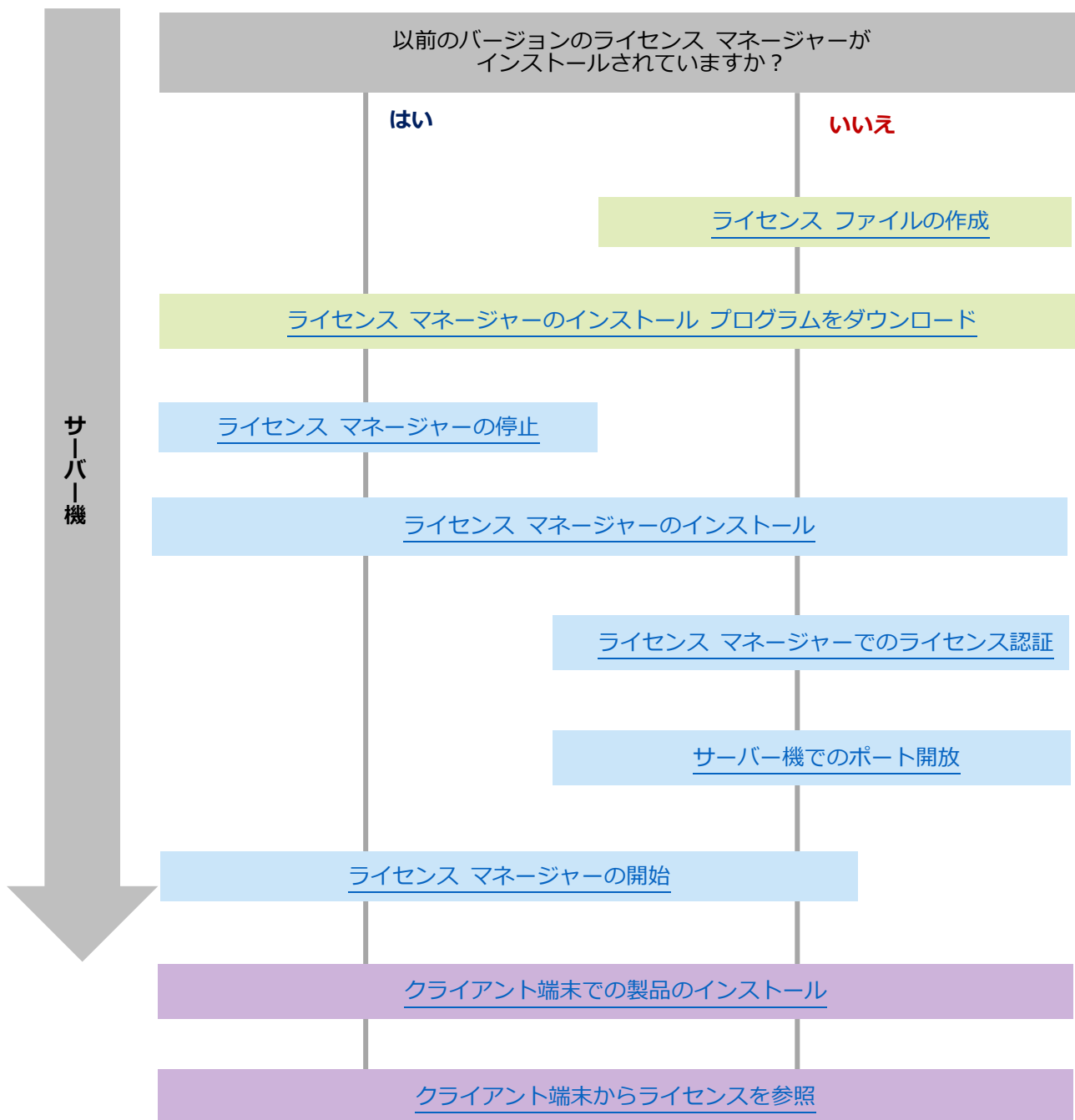
1 台のコンピューターに ArcGIS License Manager と製品の両方をインストールして利用することも可能です。ライセンス サーバーと製品をインストールするコンピューターを必ずしも個別に用意する必要はありません。

動作環境

インストールするコンピューターが動作環境を満たしているかどうかをご確認ください。

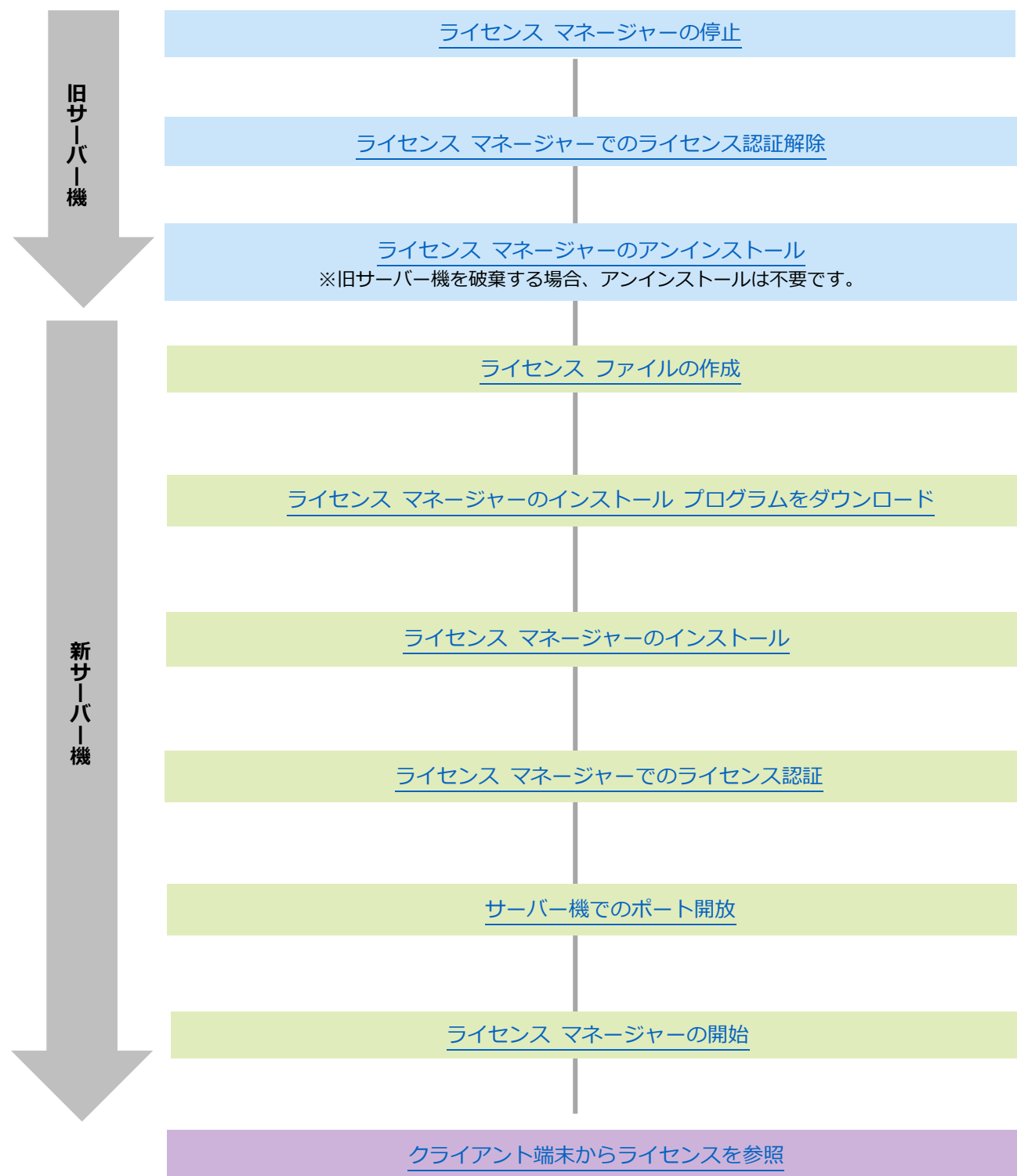
[ArcGIS License Manager のシステム要件](#)

インストールの流れ(ライセンス マネージャー のバージョン アップ含む)



※サーバー機を変更する場合は「[サーバー機交換の流れ](#)」を参照してください。

サーバー機交換の流れ



ライセンス ファイルの作成

My Esri でライセンス ファイルを作成することで、サーバー機でのライセンス認証作業を簡略化できますので、ここでは、ライセンス ファイルを作成する方法について説明します。



My Esri に接続が完了し、[ライセンス情報の表示] および [ライセンス アクションの実行] の権限を持つユーザーがライセンス ファイルを作成することができます。

組織において管理者に設定された方に、組織に接続済みの Esri アカウントが提供されています。

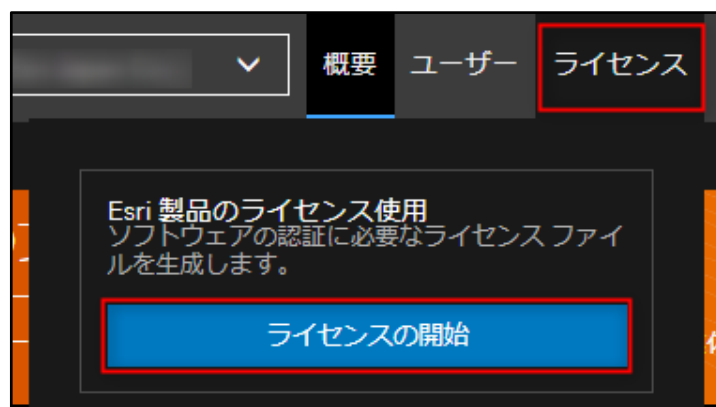
ご自身の Esri アカウントが組織に接続しているか等の詳細については、組織の管理者の方にご確認ください。



ライセンス ファイルを作成せずに、認証番号を確認してライセンス認証を行うことも可能です。

詳細は[同時使用ライセンスでの ArcGIS Pro の認証](#)をご参照ください。

1. My Esri (my.esri.com) にサイン インします。
2. [ライセンス] メニュー → [ライセンスの開始] をクリックします。



※ 英語表記の場合は、画面右上の人型アイコン → [Profile & Settings] → [Your Profile] タブにて鉛筆アイコンをクリックし、[Language] を日本語に変更し、チェック マークをクリックします。

※ タブが表示されず白いままの場合や、翻訳がおかしい場合は[よくあるご質問](#)をご参照ください。

3. [Esri 製品のライセンス使用] で任意の製品をクリックし、[プロダクト]、[バージョン]、[ライセンス タイプ]、[ライセンス] を指定して [次へ] をクリックします。

選択例（ArcGIS Pro をご利用の場合）：

4. [選択] 列のボックスに利用する数量を入れ、[次へ] をクリックします。

表示例：

主要プロダクト	利用可	合計数量	有効期限日	選択
ArcGIS Pro Advanced	☐	500		2
ArcGIS Pro Basic	☐	500		0
ArcGIS Pro Standard	☐	500		0

構成の保存 キャンセル < 戻る 次へ >



ご契約内容によっては、複数のライセンス認証番号が表示されます。その場合は、利用するライセンス認証番号の [選択] 列に数量を入力してください。

また、複数表示されている場合には、[有効期限日] が新しい方にチェックを入れます。

5. [選択] 列のボックスに利用するエクステンションの数量を入れ、[次へ] をクリックします。

表示例：

エクステンション製品	利用可	会計数量	有効期限日	選択
ArcGIS 3D Analyst for Pro		500		0
ArcGIS Aviation Airports for Pro		500		0
ArcGIS Aviation Charting for Pro		500		0
ArcGIS Business Analyst for Pro		500		0
ArcGIS Data Interoperability for Pro		500		0
ArcGIS Data Reviewer for Pro		500		0
ArcGIS Defense Mapping for Pro		500		0
ArcGIS Geostatistical Analyst for Pro		500		0
ArcGIS Image Analyst for Pro		500		0
ArcGIS LocateXT for ArcGIS Pro		500		0
ArcGIS Maritime for Pro		500		0
ArcGIS Network Analyst for Pro		500		0
ArcGIS Production Mapping for Pro		500		0
ArcGIS Publisher for Pro		500		0
ArcGIS Spatial Analyst for Pro		500		0
ArcGIS Workflow Manager for Pro		500		0
Location Referencing Pro (Pipeline_Roads)		500		0

構成の保存 キャンセル < 戻る 次へ >

6. 名前や住所などのユーザー情報を入力し、[次へ] をクリックします。

※ [ユーザーはすでに組織に接続されています]、[プロフィールからフィールドに入力する] を選択すると、設定されている情報が自動的に入力されます。

※ ユーザー情報は日本語（全角文字、半角カタカナ）入力で構いません。

エンド ユーザー情報

エンド ユーザーの情報を入力します。エンド ユーザーは、ライセンス ファイルを使用してライセンスを認証するユーザーです。

このライセンス ファイルを作成する対象ユーザーは誰ですか？

☒ ユーザーはすでに組織に接続されています

☐ 新しいユーザー

☐ プロフィールからフィールドに入力する

氏名 (名) 氏名 (姓)

通常使用する電子メール

電話番号 電話の内線番号 (オプション)

組織サイト名

部署 (オプション)

住所 住所 2 (オプション)

市区町村 都道府県

国/地域 郵便番号

構成の保存 キャンセル < 前へ 次へ >

7. [ライセンス ファイルの配布方法] として [ダウンロード] にチェックを入れ、[ファイル作成] をクリックします。

設定例：



ライセンス ファイルの配布方法

☒ ダウンロード
☐ 電子メール

このライセンス ファイルにメモを追加しますか？

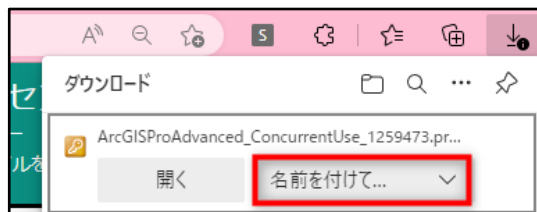
ArcGIS Pro用

ライセンス ファイルにタグを付けますか？

ライセンス ファイルのタグ付け

構成の保存 キャンセル < 戻る **ファイルの作成**

8. 下図のようなポップアップが表示されますので、[名前を付けて保存] をクリックし、端末の任意の場所にファイルを保存します。



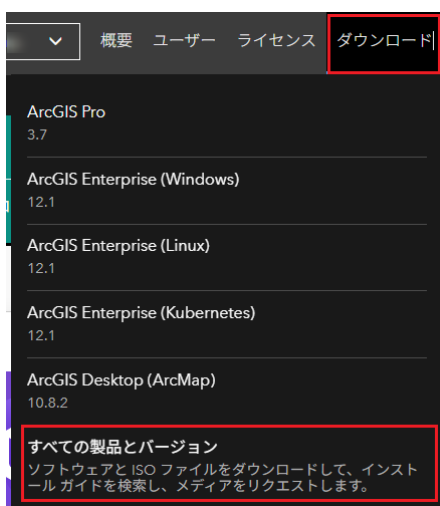
ライセンス マネージャーの インストール

インストール プログラムのダウンロード



[My Esri](#) に接続が完了し、[ソフトウェアのダウンロード] 権限を持つユーザーは My Esri より製品をダウンロードすることができます。

1. My Esri (my.esri.com) にサイン インし、[ダウンロード] メニュー → [すべての製品とバージョン] をクリックします。



2. [すべてのバージョン] をクリック → ArcGIS License Manager と検索し、右端の [ダウンロードの表示] をクリックします。





[クイック サーチ] の検索ボックスに「License」と入力しますと、ArcGIS License Manager が表示されます。



ArcGIS License Manager 最新バージョンにて、より下位の ArcGIS Pro がインストールされたクライアント端末からライセンスの参照が可能です。

3. [利用条件への同意] 上に記載されているリンク先のマスター契約書の内容を確認し、[マスター契約書の契約条件を読み、その内容を承諾しました] にチェックを入れ、[同意する] をクリックします。

利用条件への同意

Esri との使用許諾契約書に署名していない限り、このサイトからダウンロードされた製品は Esri またはサードパーティのライセンサーが所有し、[マスター契約書](#) の条件の下で使用できるライセンスが付与されます。契約条件をよくお読みください。続行するには、[マスター契約書](#) の契約条件に同意する必要があります。

☒ [マスター契約書](#) の契約条件を読み、その内容を承諾しました。

キャンセル

同意する

4. ArcGIS License Manager <ご利用のバージョン>(Windows) のインストーラーを [ダウンロード] します。



ファイルを保存する際は、十分な空き容量のあるドライブに保存してください。



本インストール ガイドでは、Windows 版のライセンス マネージャーのインストール方法についてご説明します。Linux 版のライセンス マネージャーのインストール方法については My Esri の Linux 版のライセンス マネージャーの [参考情報] → [リファレンス ガイド] をご参照ください。

インストール プログラムの実行

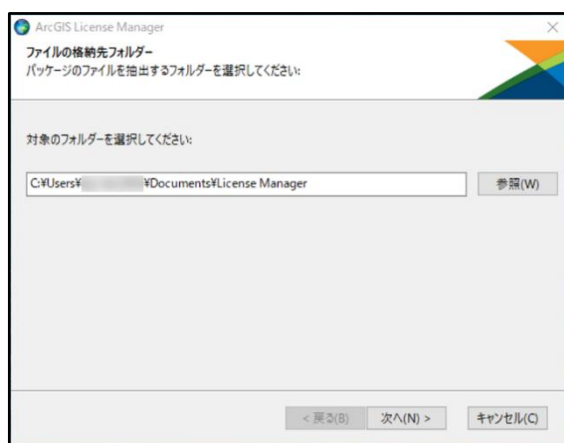


インストールの際には、**管理者権限を持つ**半角英数字名のユーザー アカウントでコンピューターにログインして作業を行ってください (ソフトウェアのご利用時においても、半角英数字名のユーザー アカウントをご使用ください)。



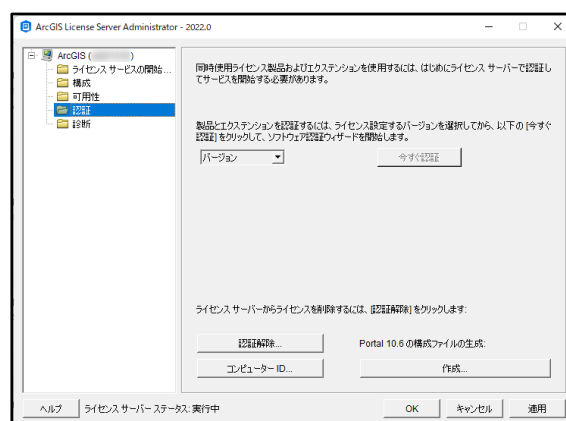
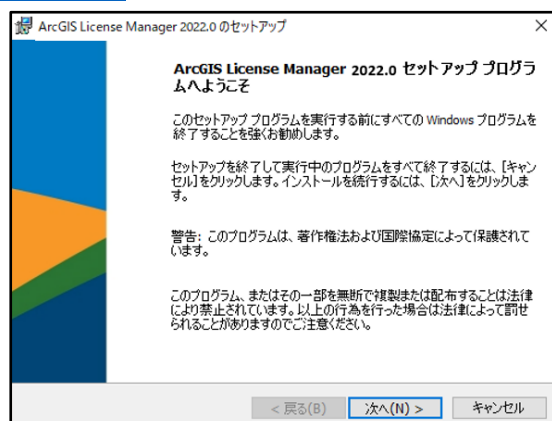
Windows のユーザー アカウント制御機能が有効になっている場合、インストールの際に操作の確認をするダイアログボックスが表示されますので、ご注意ください。

1. ArcGIS_License_Manager_Windows_<ご利用のバージョン>_ja_<xxxxxx>.exe をダブルクリックします。プログラムが自動的に展開されるので、ダイアログにしたがってインストールを行ってください。



2. 「ArcGIS License Manager <ご利用のバージョン> が正常にインストールされました」というメッセージが表示されたら [完了] ボタンをクリックします。

自動的に「ArcGIS License Server Administrator」が起動するので、続けて「[ライセンスの設定](#)」を行います (アップグレードの場合、ライセンスの設定は不要ですので、続けて「[ライセンス サーバーのポート開放](#)」を行ってください)。



ライセンスの設定



ArcGIS License Manager が既にインストールされており、上書きアップグレードを行う場合は、この「ライセンスの設定（ライセンス認証）」の手順は不要です。

ライセンス認証

作成したライセンス ファイルを使用して、ライセンス サーバーとして使用するコンピューターにて以下の手順でライセンス認証を行います。



以下の手順でライセンスを認証するには、ライセンス管理者が事前に以下の 2 点を行っておく必要があります。

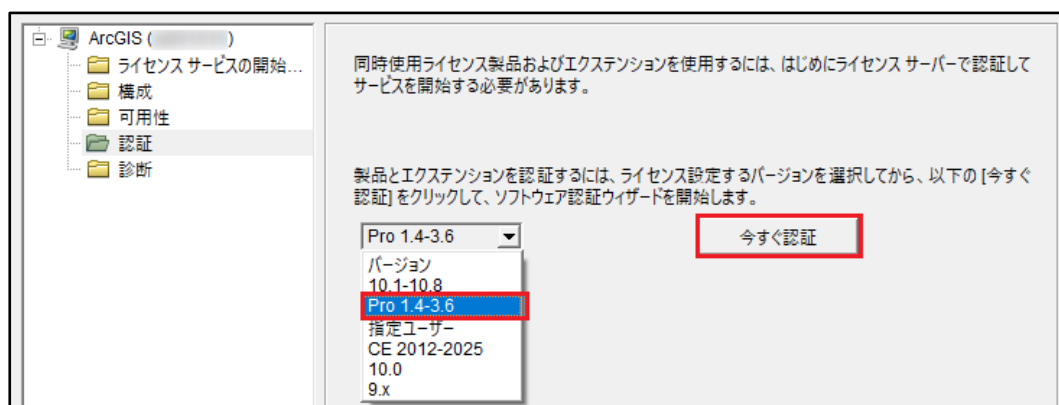
- ・ My Esri でのライセンス ファイルの作成
- ・ サーバー機への License Manager のインストール



ライセンス ファイルを作成せずに、認証番号を確認してライセンス認証を行うことも可能です。

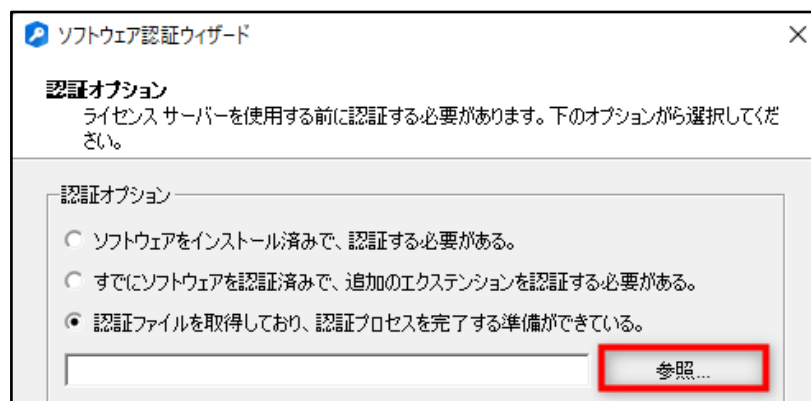
詳細は[同時使用ライセンスでの ArcGIS Pro の認証](#)をご参照ください。

1. Windows の [スタート] メニュー → [ArcGIS] → [License Server Administrator] を起動します。
2. [バージョン] ドロップダウン リストで製品のバージョンを選択し、[今すぐ認証] をクリックします。

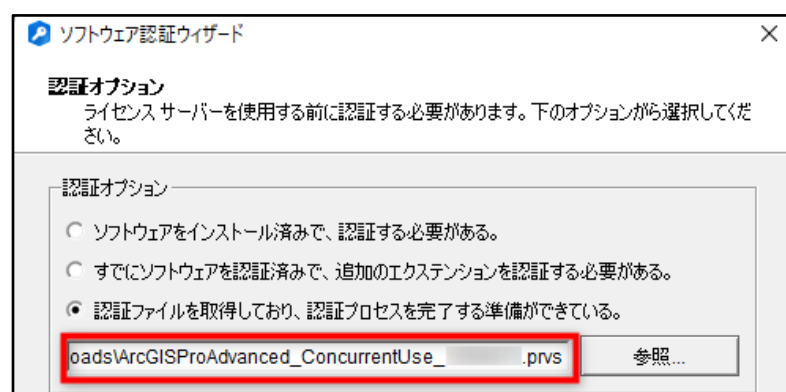


ArcGIS Pro の場合は [Pro 1.4-3.6] を選択します。

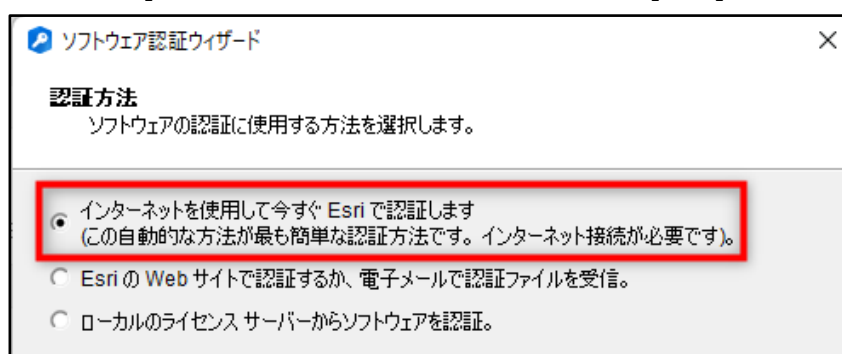
3. [ソフトウェア認証ウィザード] が表示されますので、[認証ファイルを取得しており...] にチェックを入れ、[参照] ボタンをクリックします。



4. [認証ファイル] ダイアログで、ライセンス ファイルを選択し [開く] をクリックします。
5. ライセンス ファイルのパスが格納されたことを確認し、[次へ] をクリックします。



6. [インターネットを使用して...] にチェックが入っていることを確認し、[次へ] をクリックします。





インターネットにアクセスできないコンピュータの場合

インターネットにアクセス可能なコンピュータを準備し、以下の URL のページにしたがってライセンス認証を行ってください。

[ArcGIS Pro : CU \(同時使用\) ライセンスのオフライン認証・認証解除](#)

7. ライセンス ファイル作成時に設定した情報がデフォルトで入力されていますので、そのまま [次へ] をクリックします。

※ユーザー情報は日本語（全角文字、半角カタカナ）で入力されていても構いません。

ソフトウェア認証ウィザード

認証情報
次の情報はレコードの照合、ソフトウェア使用の認証のために使用します。(* 必須フィールド)

*名: Taro
*姓: ESRI
*組織: Esri Japan Corp
部署:
*住所 1: 2-7-1 Hirakawa Cho
住所 2: Chiyoda Ku
*市区町村: Tokyo
*都道府県: 13
*郵便番号: 102-0093
*ロケーション: 日本
*電話番号:
*電子メール:
コメント: ArcGIS Pro用
オプションとしてのユーザー定義による認証の説明です。

< 戻る **次へ >** キャンセル

8. [認証情報 (続き)] で業種などのユーザー情報を選択し、[次へ] をクリックします。

ソフトウェア認証ウィザード

認証情報 (続き)
次の情報はレコードの照合、ソフトウェア使用の認証のために使用します。(* 必須フィールド)

*組織: 教育機関職員/教員
*業種: GIS サービス
*種別: 教師

ご提供いただいた個人情報は Esri のプライバシーに関する方針によって保護されます。Esri のプライバシーに関する方針をご覧になる場合は、下記の [表示] ボタンをクリックしてください。

表示...

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

9. ライセンス ファイル作成時に割り当てたコア ライセンスの認証番号が表示されますので、そのまま [次へ] をクリックします。

ソフトウェア認証ウィザード

ソフトウェア認証番号
ソフトウェア製品の認証番号を入力します。

認証番号は 3 桁の文字と一連の数字で構成されます (例: ABC123456789)。

ArcGIS Desktop Advanced	ライセンス数
EFL	1
ArcGIS Desktop Standard	
ArcGIS Desktop Basic	

10. ライセンス ファイル作成時に割り当てたエクステンションの認証番号が表示されますので、そのまま [次へ] をクリックします。

ソフトウェア認証ウィザード

ソフトウェア エクステンションの認証
以下のオプションを選択してください。

オプション

☐ 今回はエクステンションを認証しない。

☒ 1 つまたは複数のエクステンションを認証するための認証番号を持っている。

エクステンション

機能	認証番号	ライセンス数
3D Analyst	EFL	1
Spatial Analyst		
Network Analyst		
Publisher		
Data Interoperability		
Geostatistical Analyst		
Tracking Analyst		
Schematics		
Full Motion Video		
Workflow Manager		
Data Reviewer		

< 戻る **次へ >** キャンセル

11. [ソフトウェア エクステンションの評価] 画面では、特に設定を変更せず [次へ] をクリックします。
12. 自動的にライセンス認証が始まります。[完了] ボタンをクリックして認証プロセスを完了します。

ライセンス サーバーのポート開放

製品とライセンス サーバーが通信するためには、ライセンス サーバーとして使用するコンピュータのファイアウォールのポートの開放が必要です。



ライセンス サーバーとクライアント PC を同一のコンピュータにする場合、ポート開放は不要です。

1. Windows の [コントロール パネル] → [システムとセキュリティ] をクリックします。



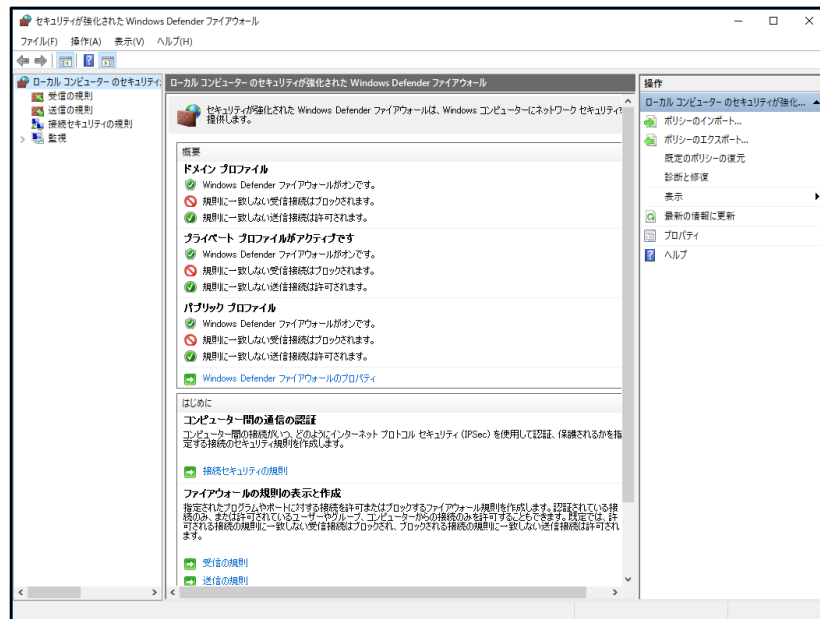
2. システムとセキュリティで、[Windows Defender ファイアウォール] (または [Windows ファイアウォール]) をクリックします。



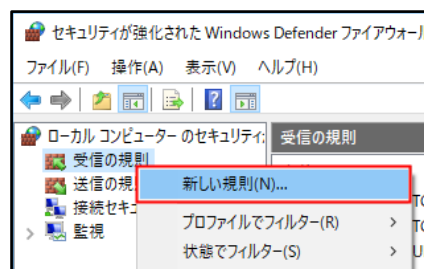
3. [詳細設定] をクリックします。



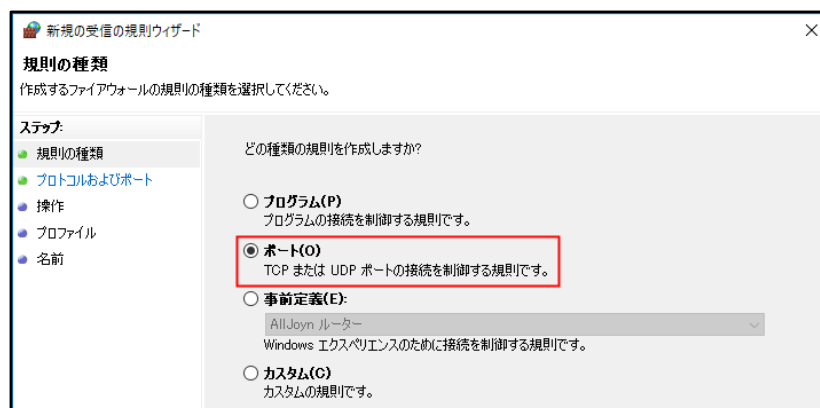
4. [セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール] ウィンドウが表示されます。



5. 左ツリーの [受信の規則] をクリックして選択後、[受信の規則] を右クリック → [新しい規則] をクリックします。



6. 新規の受信の規則ウィザード画面が開きます。[ポート] ラジオ ボタンを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。



7. [TCP] ラジオ ボタンと [特定のローカル ポート] ラジオ ボタンを選択し、[特定のローカル ポート] に「27000」と入力します。入力後、[次へ] ボタンをクリックします。



ライセンス サーバーがデフォルトで使用するポート番号は **27000** です。

新規の受信の規則ウィザード

プロトコルおよびポート
この規則を適用するプロトコルとポートを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか?

☒ TCP (T)

☐ UDP (U)

すべてのローカル ポートと特定のローカル ポートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択してください。

☐ すべてのローカル ポート (A)

☒ 特定のローカル ポート (S): 27000
例: 80, 443, 5000-5010

8. [接続を許可する] ラジオ ボタンを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

新規の受信の規則ウィザード

操作
規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

☒ 接続を許可する (A)
IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。

☐ セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する (C)
IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。

☐ カスタマイズ (Z)

☐ 接続をブロックする (K)

9. ご使用のネットワーク環境に合わせてチェック ボックスをオンにし、[次へ] ボタンをクリックします。

新規の受信の規則ウィザード

プロファイル
この規則が適用されるプロファイルを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

この規則はいつ適用しますか?

☒ ドメイン (D)
コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。

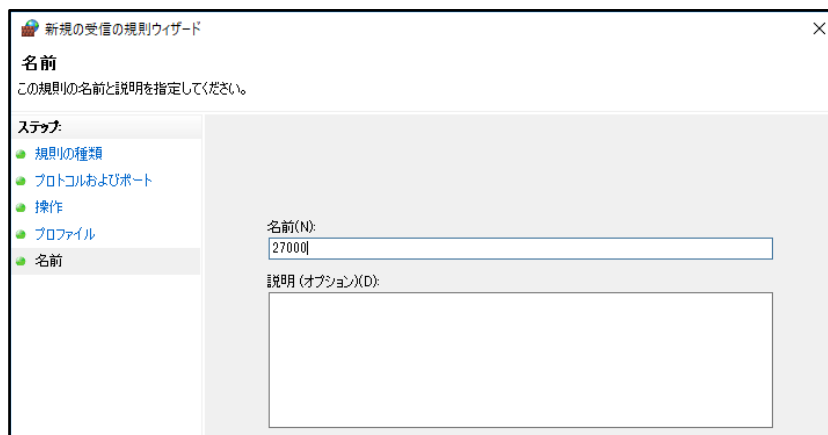
☒ プライベート (P)
コンピューターが自宅や職場などのプライベート ネットワークに接続しているときに適用されます。

☐ パブリック (U)
コンピューターがパブリック ネットワークに接続しているときに適用されます。

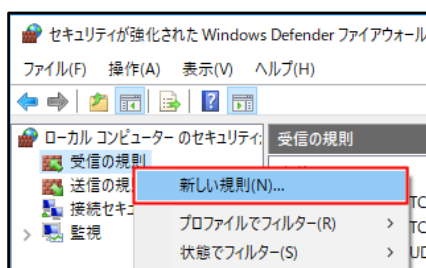


Windows の [コントロールパネル] → [ネットワークと共有センター] でご使用のネットワークをご確認ください。

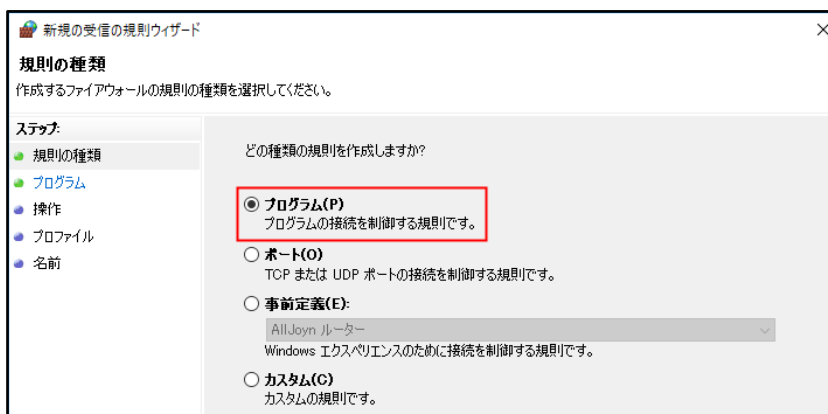
10. 作成した規則に任意の名前をつけます。名前をつけたら [完了] ボタンをクリックして規則を作成します。



11. 引き続き、ARCGIS.exe が通信を行うためのプログラムの設定をします。[セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール] ウィンドウで [受信の規則] を右クリックして [新しい規則] をクリックします。



12. [プログラム] ラジオ ボタンを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。



13. [このプログラムのパス] ラジオ ボタンを選択して、フォームに「ARCGIS.exe」のファイル パスを
入力します。ファイル パスを指定した後、[次へ] ボタンをクリックします。

新規の受信の規則ウィザード

プログラム
この規則が一致するプログラムの完全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。

ステップ:
● 規則の種類
● プログラム
● 操作
● プロファイル
● 名前

すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか?

☐ すべてのプログラム(A)
他の規則のプロパティに一致する、コンピューター上のすべての接続に規則を適用します。

☒ このプログラムのパス(T):
%ProgramFiles%\x86%\ArcGIS\LicenseManager\bin\ARCGIS.exe 参照(R)...
例: c:\path\program.exe
%ProgramFiles%\browser\browser.exe



Windows OS の 64 bit 環境でインストール場所がデフォルトの場合、ArcGIS License Manager 2021.0 以降では、ARCGIS.exe のパスは以下となります。

C:\Program Files\ArcGIS\LicenseManager\bin\ARCGIS.exe

旧バージョンの ArcGIS License Manager をご利用の場合は、インストール先が異なる場合があります。
また、ダイアログ上の [参照] ボタンからファイルを指定することも可能です。

14. [接続を許可する] ラジオ ボタンを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

新規の受信の規則ウィザード

操作
規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

ステップ:
● 規則の種類
● プロトコルおよびポート
● 操作
● プロファイル
● 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

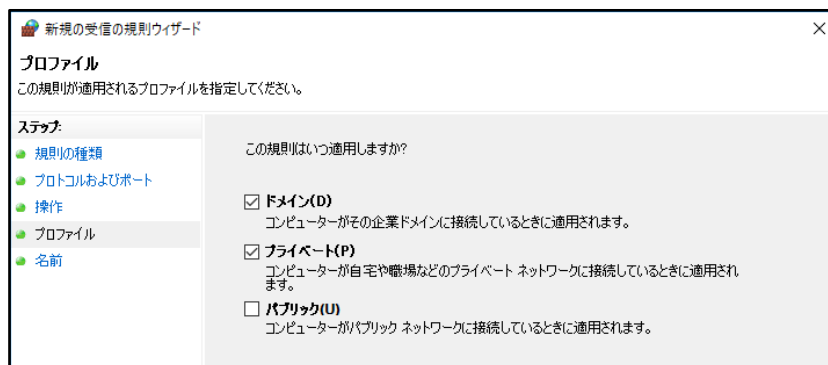
☒ 接続を許可する(A)
IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。

☐ セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)
IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。

カスタマイズ(Z)

☐ 接続をブロックする(K)

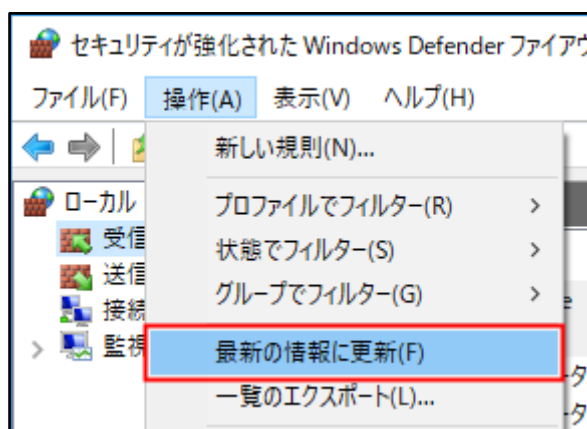
15. ご使用のネットワーク環境に合わせてチェック ボックスをオンにし、[次へ] ボタンをクリックします。



16. 作成した規則に任意の名前をつけます。名前をつけたら [完了] ボタンをクリックして規則を作成します。



17. [操作] メニュー → [最新の情報に更新] をクリックして最新の情報に更新します。



18. [セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール] ウィンドウおよび [コントロール パネル] を閉じます。ポート開放の手順は以上です。



注意

「27000」以外のポートを使用したい場合や「ARCGIS.exe」のプログラム指定ではないポート番号を指定して開放したい場合は「[ファイアウォールが構築されたネットワーク環境でライセンス マネージャーが使用するポートを固定してポートを開放する方法](#)」をご参照ください。



Windows のファイアウォールの既定の設定では、すべての送信ネットワーク トラフィックを許可していますので送信の規則を設定する必要はありません。ただし、送信ネットワーク トラフィックを制限している環境においては、受信の規則の設定と同様に送信の規則を設定する必要がある場合もあります。

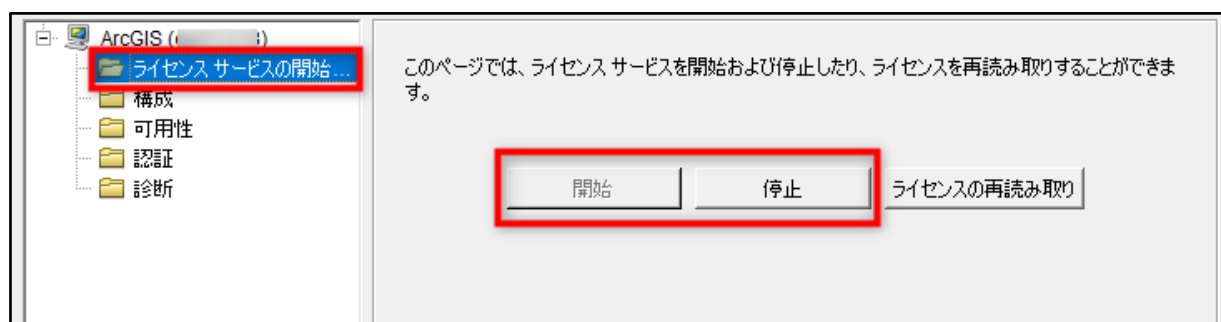
ライセンス マネージャーの停止/開始

ライセンス マネージャーのバージョンアップやアンインストールを行う際、ライセンス サービスの [停止] および [開始] にて、ライセンス サービスを再起動します。

1. Windows の [スタート] メニュー → [ArcGIS] → [License Server Administrator] をクリックします。
2. ツリー上の [ライセンス サービスの開始/停止] をクリックします。
3. ライセンス マネージャーのサービスを停止する場合は [停止] ボタンを、開始する場合は [開始] ボタンをクリックします。



現在のライセンス マネージャーの状態は、[ArcGIS License Server Administrator] ウィンドウの左下、[ライセンス サーバー ステータス: <現在のステータス>] で確認できます。



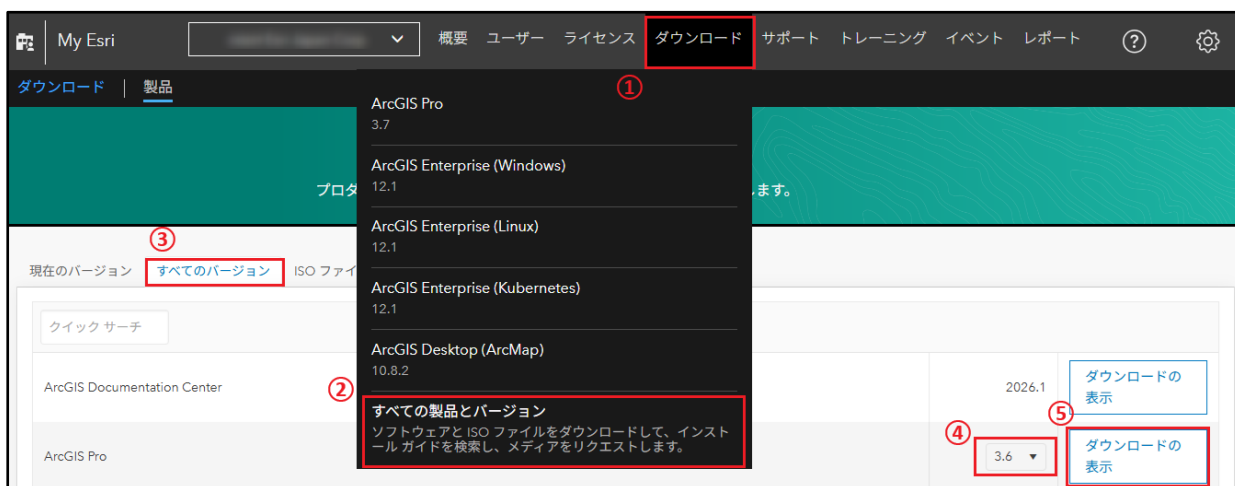
クライアント端末での 製品のインストール

製品のインストール プログラムのダウンロード



My Esri に接続が完了し、[ソフトウェアのダウンロード] 権限を持つユーザーは My Esri より製品をダウンロードすることができます。

1. My Esri (my.esri.com) にサイン インします。
2. [ダウンロード] メニュー → [すべての製品とバージョン] をクリックします。
[すべてのバージョン] タブに切り替え→プロダクトの一覧を表示し、インストールしたいバージョンを選択し、[ダウンロードの表示] をクリックします。



最新バージョン以外のバージョンをダウンロードする場合、[すべてのバージョン] タブをクリック → プロダクトの一覧を表示し、ダウンロードしたいバージョンを選択してください。

3. [利用条件への同意] 上に記載されているリンク先のマスター契約書の内容を確認し、[マスター契約書の契約条件を読み、その内容を承諾しました] にチェックを入れ、[同意する] をクリックします。

4. ダウンロードするプロダクトのバージョンおよび言語を確認し、[プロダクト コンポーネント] から、必要なファイル名の横の [ダウンロード] をクリックし、PC の任意の場所にダウンロードします。

表示例（以下の画像はArcGIS Pro 3.6 の場合です）：



5. ダウンロードが完了しましたら、インストールを実行します。

【任意】アドイン ツール等のダウンロード

ArcGIS Pro にて利用可能な、日本のユーザー様向けの国内対応パックやアドイン ツール等を提供しています。必要に応じて、製品に対応するインストーラーをダウンロードし、インストールしてご利用ください。

アドイン ツール (オプション) : [アドイン ツール](#)からダウンロード

EJPyConv ツール (オプション) : [EJPyConv_setup](#) からダウンロード

クライアント端末から ライセンスを参照

クライアント端末から、ライセンス サーバー上のライセンスを参照します。



ライセンスの管理者以外のユーザーはこちらの「ライセンスの参照」操作のみ行ってください。

以下の手順でライセンスを参照するには、ライセンス管理者が事前にサーバー機で License Manager をインストールし、ライセンス認証を完了しておく必要があります。

ArcGIS Pro のライセンス設定



ArcGIS Pro に指定ユーザー ライセンスでサイン インしている場合は、一度 ArcGIS Pro を起動してからサインアウトし、アプリケーションを閉じてから、以下の手順を進めます。

1. ArcGIS Pro を起動します。
2. [ArcGIS サイン イン] ダイアログが起動しますので、画面下の [ライセンスの構成] をクリックします。



3. ライセンス オプションの構成画面が起動しますので、[ライセンス タイプ] ドロップダウン リストを展開し、[同時使用ライセンス] を選択します。

ライセンス

認証の構成

下のドロップダウン リストから認証タイプを選択してください。

ライセンス タイプ: 指定ユーザー ライセンス (詳細)

ライセンス オプション: 単独使用ライセンス, 指定ユーザー ライセンス, **同時使用ライセンス**

以下のオプションからライセンス ホールを構成してください:

4. [ライセンス レベル] にご契約製品のレベルを設定します。
5. [ライセンス マネージャー] にライセンス マネージャーがインストールされているコンピューターの名前を指定します。

ライセンス

認証の構成

下のドロップダウン リストから認証タイプを選択してください。

ライセンス タイプ: 同時使用ライセンス (詳細)

ライセンス レベル

以下より Pro コア製品のライセンス レベルを選択してください。

Advanced (選択済み) Standard Basic

ライセンス マネージャー: ComputerName (バックアップの追加)

名前	ライセンス	利用可能なシート	有効期限
ArcGIS Pro Advanced	✓		
3D Analyst	✓		
Aviation Airports	✓		
Business Analyst	✓		
Data Interoperability	✓		
Data Reviewer	✓		
Defense Mapping	✓		
Geostatistical Analyst	✓		
Image Analyst	✓		
LocateXT	✗		
Location Referencing	✓		
Maritime Charting	✓		

更新

OK キャンセル



License Manager と ArcGIS Pro を同一コンピューターにインストールしている場合は、「localhost」と入力してください。



コンピューター名の確認方法については「[コンピューター名を知りたい場合](#)」をご参照ください。

6. 使用する製品のライセンスのチェックボックスをオンにし、[OK] をクリックします。

ライセンスの設定は以上です。続けて動作確認を行ってください。

ArcGIS Pro の動作確認

1. Windows の [スタート] メニュー → [ArcGIS Pro] → [ArcGIS Pro x.x] をクリックします。
2. ArcGIS Pro が動作するか確認します。



ArcGIS Pro の画面が英語で表示される場合は「[ArcGIS Pro : 英語で表示される \(日本語で表示されない\)](#)」を参照してください。

3. 使用可能なエクステンションがあり、これらのツールや機能を使用する場合は、[設定] → [ライセンス] → [ライセンス オプションの構成] → [ライセンス] 列のボックスにチェックを入れ、[OK] を選択します。

The screenshot shows the ArcGIS Pro interface with the 'ライセンス' (License) dialog box open. The dialog box has a sidebar on the left with a blue header and a list of options. The main area is titled 'ライセンス' (License) and contains several sections. The 'ライセンス オプションの構成' (Configure License Options) section is highlighted with a red box. It contains a table with columns: '名前' (Name), 'ライセンス' (License), '利用可能なシート' (Available Sheets), and '有効期限' (Expiration Date). The 'ライセンス' column has checkboxes for various extensions. The 'OK' button is highlighted with a red box.

名前	ライセンス	利用可能なシート	有効期限
ArcGIS Pro Advanced	☒		
3D Analyst	☒		
Aviation Airports	☐		
Aviation Charting	☐		
Bathymetry	☐		
Business Analyst	☒		
Data Interoperability	☒		
Data Reviewer	☒		
Defense Mapping	☐		
Geostatistical Analyst	☒		
Image Analyst	☐		
LocateXT	☐		

補足：アンインストール

ArcGIS License Manager をアンインストールする場合は以下の手順で行います。

①ライセンスの認証解除 → ②プログラムのアンインストール



事前にライセンス認証解除が必要なケース：

- ① ArcGIS License Manager を使用するコンピューターを変更する場合
- ② OS を再インストールする場合
- ③ コンピューターの OS やハードウェアの構成を変更する場合

認証解除を行うことで、使用しているコンピューターの固有情報と認証番号の結びつけを解除し、ほかのコンピューターで再びライセンスを認証することが可能になります。

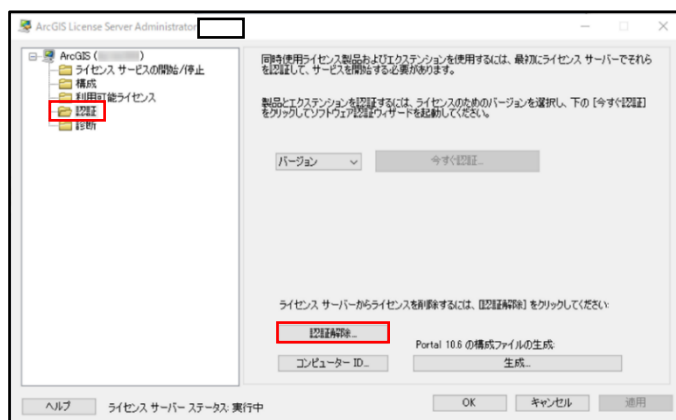
ライセンスの認証解除

1. ライセンス マネージャーからライセンスを借用しているコンピューターがある場合、ライセンス マネージャーにすべてのライセンスを返却してください。



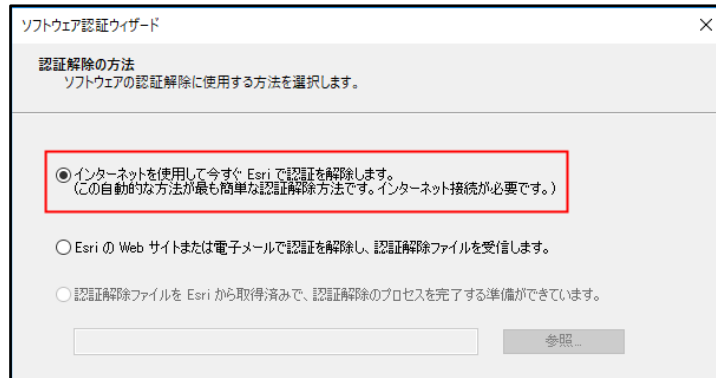
詳しい方法は「[ライセンスの借用と返却について](#)」をご参照ください。

2. Windows の [スタート] メニュー → [ArcGIS] → [License Server Administrator] をクリックします。
3. 左のメニュー内の [認証] フォルダー → [認証解除] をクリックします。
表示例：



※バージョンによってダイアログのレイアウトが若干異なります。

4. [インターネットを使用して今すぐ Esri で認証を解除します。] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



インターネット接続が不可能なコンピュータで認証解除を行う場合、インターネット接続が可能な別のコンピュータを使用して認証解除します。以下の URL のページにしたがって、認証解除を行ってください。

[ArcGIS Pro : CU \(同時使用\) ライセンスのオフライン認証・認証解除](#)

5. 認証解除を行うライセンスのチェックボックスがオンになっていることと、認証解除するライセンス数を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。
6. 認証解除が自動的に行われます。[完了] ボタンをクリックして終了します。

プログラムのアンインストール

- Windows の [スタート] メニュー → [コントロール パネル] → [プログラムのアンインストール] をクリックします。
- [ArcGIS License Manager <ご利用のバージョン>] を右クリックして、[アンインストールと変更] をクリックします。
ダイアログにしたがってアンインストールを実行します。

- ・ 本書に記載されている内容は予告無く変更される場合があります。
- ・ 本書の一部または全部を無断で転用または複製することを禁じます。
- ・ ArcGIS Desktop Basic、ArcGIS Desktop Standard、ArcGIS Desktop Advanced、ArcGIS、ArcMap、ArcCatalog、ArcToolbox、ArcGIS Pro、ArcGIS Enterprise、ArcGIS GIS Server、ArcGIS Engine、ArcGIS Online、Esri は、米国、欧州およびその他の管轄区におけるEsri 社の登録商標または商標です。
- ・ 本書に記載されている会社名、製品名は各所有者の登録商標および商標です。

書名	: ArcGIS Pro 同時使用ライセンス利用ガイド
発行日	: 2026年8月31日 第6版
著作	: ESRIジャパン株式会社
発行	: ESRIジャパン株式会社
	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-1 塩崎ビル
電話	: 03-3222-3941
FAX	: 03-3222-3946
URL	: https://www.esri.jp/